

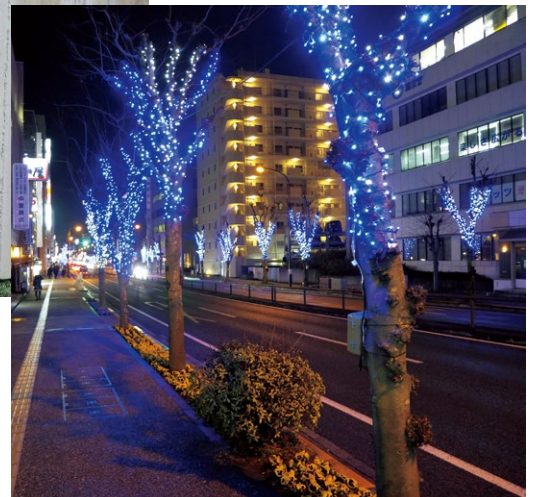


経済の活性化・暮らしの向上を目指した県土
マネジメントの推進

主担当部局：県土マネジメント部



橋梁点検



大宮通りイルミネーション

目指す姿

経済の活性化、暮らしの向上を図るため、「選択と集中」により、社会資本の管理、活用、整備をマネジメントし、安全・安心のための県土整備、交通環境の充実を図ります。



●平成29年度までに「選択と集中」により道路整備を推進し、

26カ所

を供用します。

(平成27年8月時点完了宣言箇所)

●平成31年度までに浸水常襲地域において被害軽減のための減災対策を推進し、

概ね7割の地域

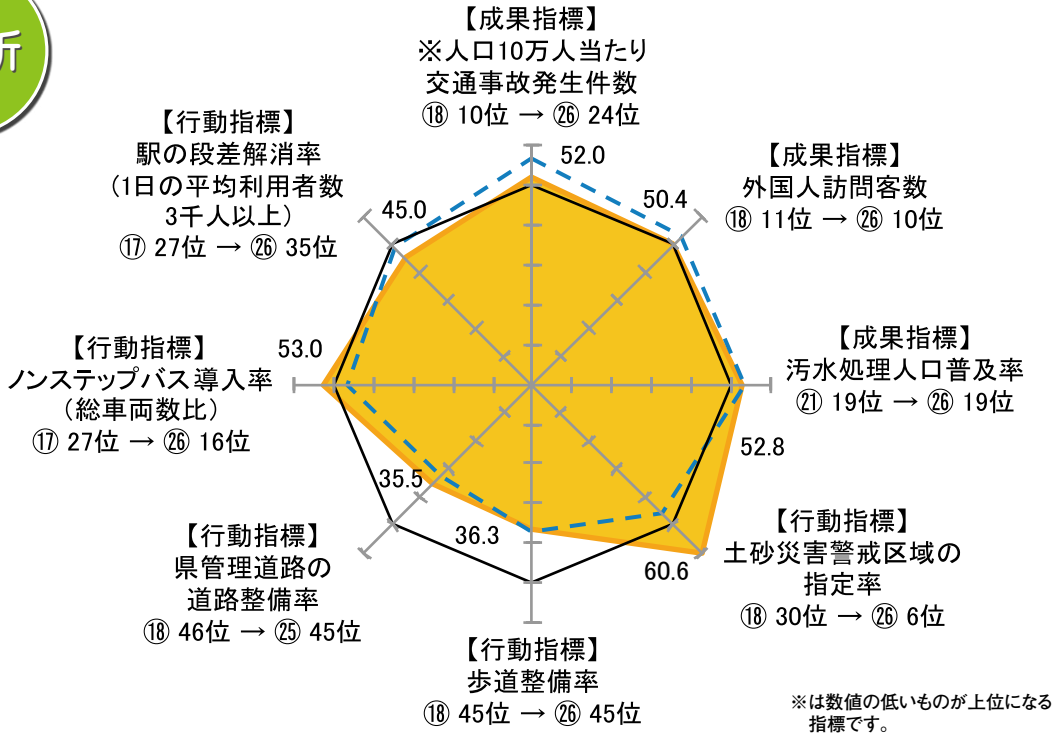
で対策を完了します。

(平成27年3月末:50カ所(52%)で対策完了)

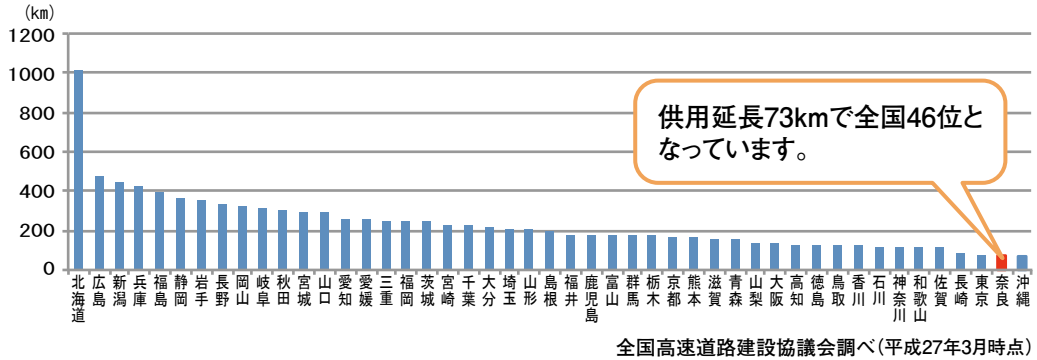
現 状

分 析

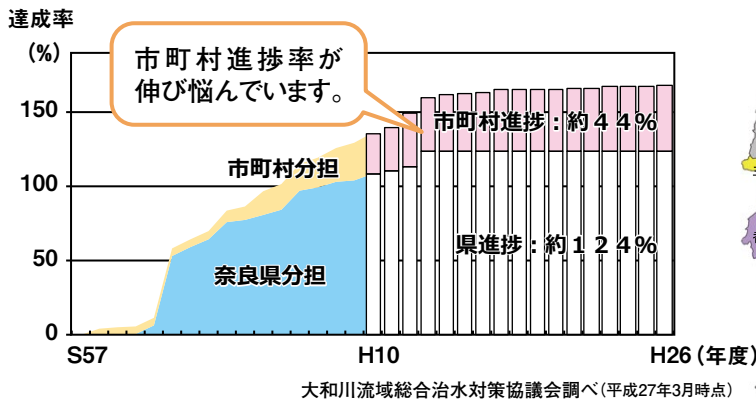
■ 主な指標



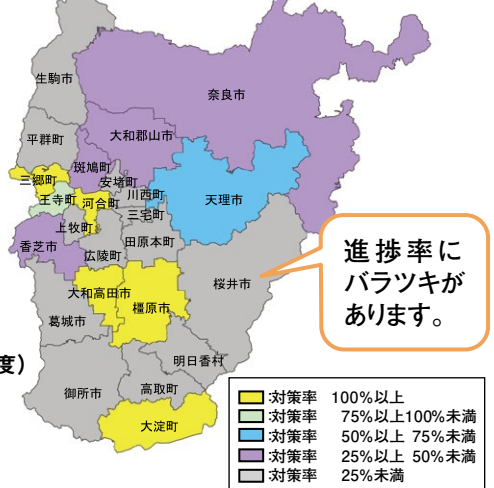
都道府県別高規格幹線道路の供用延長



流域対策の進捗状況



ため池治水の進捗状況(市町村)



戦略1

企業立地の支援、観光の振興など、地域経済の発展に寄与する基盤整備を推進します。 主担当課：県土マネジメント部 企画管理室

戦略目標

- ▶ 平成28年度までに、京奈和自動車道の御所南ICから五條北IC間を整備し、県内の高規格幹線道路の整備を80kmとなるよう国に働きかけます。(平成27年3月末：73km供用)
- ▶ 快適で便利な交通環境の実現を目指します。
- ▶ 地域資源を活用したにぎわいの拠点づくりを推進します。

取り組み

骨格幹線道路ネットワークの形成

企業立地の支援・観光振興に資する道路整備の推進

企業立地環境の向上に資する総合治水対策の推進

奈良の魅力を一層高める交通環境の充実

リニア中央新幹線の建設促進

大宮通りを軸とした観光拠点施設の整備

都市公園等のマネジメントの推進

観光地の良好な景観を形成する無電柱化の推進



京奈和自動車道御所IC周辺



馬見丘陵公園集いの丘

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
骨格幹線道路ネットワークの形成	整備の推進			
◎京奈和自動車道の整備促進	大和北道路・大和御所道路の整備促進 ●御所南IC～五條北IC供用			
◎IC等アクセス道路の整備推進	整備の推進			
企業立地の支援・観光振興に資する道路整備の推進				
◎産業集積地へのアクセス道路の整備推進	整備の推進			
◎「奈良県みんなでつくる渋滞解消プラン」に基づく渋滞対策の推進	渋滞対策の推進、効果検証、対策箇所の見直し			
企業立地環境の向上に資する総合治水対策の推進	対策の推進			
奈良の魅力を一層高める交通環境の充実				
◎ぐるっとバスの運行	主要鉄道駅と奈良公園や平城宮跡等の観光拠点を結ぶバスの通年運行			
◎市街地郊外の駐車場を用いたパークアンドバスライド	春秋の観光シーズンに奈良中心市街地で実施			
◎登大路駐車場のバスターミナル化	設計	整備の推進		
◎大宮通りの修景整備	花壇、街路樹、イルミネーションによる修景整備			
◎ドライバー向けの周遊観光情報の提供	観光情報の提供			
◎広域的な自転車利用ネットワークの整備推進	(仮称)京奈和自転車道の整備推進			
◎観光案内サインの充実	整備の推進			
リニア中央新幹線の建設促進	「奈良市附近」駅位置の早期確定及び三重・奈良ルートへの早期実現に向けた要望活動 地元自治体がJR東海から求められる協力事項の先行検討			
大宮通りを軸とした観光拠点施設の整備				
◎奈良公園基本戦略に基づく事業の推進	事業の推進			
◎地域活性化総合特区指定による奈良公園エリアの更なる魅力向上	事業の推進			
◎大宮通り新ホテル・交流拠点の整備推進	整備の推進			
◎平城宮跡歴史公園の整備推進	整備の推進(平成29年度朱雀大路西側地区を供用予定)			
都市公園等のマネジメントの推進	施設整備、公園管理、利活用の推進			
観光地の良好な景観を形成する無電柱化の推進	整備の推進			



スィムピア奈良



奈良春日野国際フォーラム別館

戦略2

日常生活の利便性・快適性向上を推進します。

主担当課：県土マネジメント部 道路環境課

戦略目標

- ▶ 「奈良県安心歩行空間整備方針」に基づき、安全な歩行空間を確保し、**歩道整備率を向上**させます。
- ▶ 市町村や交通事業者、地域住民などと連携・協働のもと、誰もが安心して暮らせるモビリティ（移動の利便性）の確保を目指し、平成32年度までに、**ノンステップバスの導入率（対象車両数比）を70%、鉄道駅のバリアフリー化を原則100%**にします。
(平成27年3月末：ノンステップバス35.3%、鉄道駅の段差解消率68.8%)
- ▶ 地域の住民や企業との協働による快適な道路空間の維持・向上に向けての取り組みとして、平成31年度までに、「**みんなで守ロード**」事業の参加団体を**108団体に拡充**します。
- ▶ 生活環境の改善及び公公共用水域の水質保全を目指し、平成31年度までに、**汚水処理人口普及率を92.0%**にします。

取り組み

骨格幹線道路ネットワークの形成（再掲）

生活利便の向上に資する道路整備の推進

歩行空間の確保とバリアフリーの推進

誰もが安心して暮らせるモビリティの確保

効率的・効果的な維持管理体制の確立

効率的な下水道運営の推進

〔対策前〕



〔対策後〕



前栽第1号踏切の整備

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
骨格幹線道路ネットワークの形成(再掲)	整備の推進			
生活利便の向上に資する道路整備の推進	整備の推進			
歩行空間の確保とバリアフリーの推進	整備の推進			
誰もが安心して暮らせるモビリティの確保				
◎公共交通の総合的かつ計画的な施策の推進	公共交通施策の推進 基本計画の検討・策定	新たな公共交通施策の推進		
◎鉄道駅等のバリアフリー化	駅・周辺主要施設における移動空間の整備推進			
◎公共施設等に接続するノンステップバスの導入への支援	交通事業者等との協議、施策の推進			
◎過疎地域等における基幹的な生活交通の確保	関係市町村・交通事業者等との協議、施策の推進 連携協定に基づく奈良交通(株)との協議、施策の推進			
◎市町村のコミュニティバス等への支援	協議、施策の推進			
効率的・効果的な維持管理体制の確立				
◎社会資本の維持管理における包括管理契約の導入	対象の拡大、推進			
◎社会資本の維持管理におけるボランティア活動等 県民との協働の推進	協働の推進			
◎協定締結等による民間企業等との連携推進	災害時における対応や河川管理について連携を推進			
◎県民からの要望等の分析・活用の推進	分析・活用の推進			
効率的な下水道運営の推進	検討・設計	施策の推進		

[改修前]



[改修後]



小金打川の整備

戦略3 災害への備えなど強靱な県土整備を推進します。

主担当課：県土マネジメント部 河川課

戦略目標

- ▶ 「なら安心みちネットプラン」に基づき、道路ネットワークの遮断を未然に防止するため、**道路防災対策を推進**します。
- ▶ 河川整備計画に基づき、**河川改修を推進**します。
- ▶ 平成31年度までに、先行的保全施設（避難所や要配慮者利用施設）**約50カ所の土砂災害対策に着手**します。
- ▶ 平成30年度までに、**土砂災害特別警戒区域**について**約1万カ所調査**し、その**結果を公表**します。
- ▶ 平成31年度までに、**骨格幹線道路ネットワークの整備率を48%**となるよう、整備を進めます。（平成27年3月末：22%）
- ▶ 東西大動脈ルート之二重系化による国土構造の強靱化や県内への大動脈形成を図る**リニア中央新幹線三重・奈良ルート**の**早期実現**を目指します。

取り組み

道路防災対策の推進

治水対策の推進

主要
プロジェクト
27

大和川流域の力を結集した
洪水対策

土砂災害対策の推進

骨格幹線道路ネットワークの
形成（再掲）

安全・安心を支える道路整備の推進

主要
プロジェクト
28

アセットマネジメントの推進

リニア中央新幹線の建設促進
（再掲）



急傾斜地崩壊対策事業



路肩のカラー舗装化

【更新前】



【更新後】



汚泥脱水機

工程表

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
道路防災対策の推進	対策の推進			
治水対策の推進				
◎河川改修の整備推進	河川改修やPDCAサイクルによるマネジメント			
◎浸水常襲地域における減災対策の推進	対策の推進			
◎雨量・水位・流量情報のマネジメント	観測所の増設、データの蓄積・分析・提供			
大和川流域の力を結集した洪水対策				
◎総合治水対策の推進	条例の制定		運用	
◎内水対策の推進	対策プログラム策定	プログラムに基づく対策実施		
◎流域対策モデル地区における対策の推進	上下流域市町村との連携と情報共有、協議会の開催			
◎直轄遊水池の整備促進	事業の円滑化支援			
土砂災害対策の推進				
◎先行的保全施設への土砂災害対策の推進	次期計画の策定		対策の推進	
◎土砂災害警戒区域等の指定推進	特別警戒区域の指定推進			
◎土砂災害に対する情報提供の推進	ハザードマップやインターネット等を通じた住民への情報提供			
◎大規模土砂災害の監視・警戒・避難のシステムづくり	監視・警戒・避難のシステムづくりの推進			
骨格幹線道路ネットワークの形成(再掲)	整備の推進			
安全・安心を支える道路整備の推進				
◎「紀伊半島アンカールート」等の災害に強い道路整備の推進	国道168号「五條新宮道路」及び国道169号の整備推進 ●国道168号川津道路供用予定 ●国道168号辻堂バイパス部分供用予定 ●国道169号奥瀬道路(Ⅱ期)供用 国道168号辻堂バイパス供用予定●			
◎暮らしを支える交通安全対策の推進	対策の推進			
アセットマネジメントの推進				
◎道路施設の老朽化対策の推進	第2期橋梁長寿命化計画の策定	橋梁長寿命化対策の推進		
	トンネル長寿命化計画の策定	トンネル長寿命化対策の推進		
◎河川管理施設の老朽化対策の推進	点検・調査	河川管理施設(樋門)長寿命化対策の推進	県管理ダム・長寿命化計画の策定	県管理ダム長寿命化対策の推進
◎砂防関係施設の老朽化対策の推進	砂防関係施設長寿命化計画の策定	砂防関係施設長寿命化対策の推進		
◎下水道施設の老朽化対策の推進	下水道施設長寿命化対策の推進			
◎公園施設の老朽化対策の推進	公園施設長寿命化対策の推進			
リニア中央新幹線の建設促進(再掲)	「奈良市附近」駅位置の早期確定及び三重・奈良ルートの早期実現に向けた要望活動 地元自治体がJR東海から求められる協力事項の先行検討			

これまでの成果

★土砂災害警戒区域（イエロー区域）について、**全区域（10,967区域）の指定を完了**しました。（平成27年5月末）

JR奈良駅及び近鉄奈良駅から奈良公園に至る主要動線や主要観光拠点等で**無料公衆無線LAN「奈良 Free Wi-Fi」のサービスを開始**しました。（平成27年4月）

奈良県新公会堂のコンベンション機能を充実し、**奈良春日野国際フォーラム 薨〜I・RA・KA〜**として**リニューアルオープン**しました。（平成27年8月）

馬見丘陵公園では、中和地域の観光振興の一拠点として、平成27年4月に**チューリップフェアを開催**し、**約9.1万人の来園者**がありました。

奈良県通学路安全対策推進会議を開催し、「通学路交通安全プログラム」の策定を推進していくとともにプログラムに基づき、**対策の効果検証**を行い、改善・充実を図るPDCAサイクルを繰り返していることを確認しました。（平成27年6月）

奈良県職員採用試験の「総合職土木」分野に興味のある学生等を対象とした**奈良県総合職土木業務セミナー**を開催しました。（平成27年11月）

主な指標の動き

■よくなっている指標

※人口10万人当たり
交通事故発生件数

569.6件
（平成18年 全国10位）



426.5件
（平成26年 全国24位）

全国順位は低下していますが、安全対策などの実施により発生件数は減少しています。

汚水処理人口普及率

83.9%
（平成21年度 全国19位）



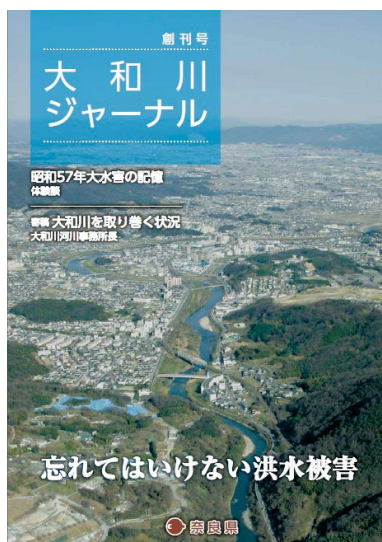
87.5%
（平成26年度 全国19位）

全国順位に変化はありませんが、市町村や県の積極的な下水道整備により、汚水処理人口普及率は着実に増加しています。

※は数値の低いものが上位になる指標です。



過疎地域等における基幹的な生活交通の確保



大和川ジャーナルの創刊



下水道施設における技術研修